

沿革

日本鉄筋継手協会のあゆみ	年 度	鉄筋継手の開発及び法令・JIS等の変遷
	1950	ガス圧接法の研究が始まる
	1951	日本初の定置式鉄筋ガス圧接機開発
	1952	東京駅～神田駅高架線増設工事に初めてガス圧接を使用、帝都交通高速 営団渋谷車庫土留め工事でガス圧接を本格的採用
	1963	
日本圧接協会設立		
ガス圧接技量資格検定制度発足		
ガス圧接技量資格検定制度試験が始まる	1964	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 制定
日本圧接協会が社団法人化	1965	
「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」策定	1966	
会報「圧接」を創刊	1966	
鉄筋のガス圧接部超音波探傷法に関する研究を発表	1968	
	1970	1970年代に鉄筋の機械式継手・溶接継手の開発が始まる
	1972	JIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 制定
自動ガス圧接工法による圧接継手の確性試験受託	1975	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 第1次改正
超音波探傷検査技術者の第1回試験を実施	1978	
自動ガス圧接装置取扱者の技量検定制度試験が始まる	1979	
「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第1次改訂		
	1980	JIS Z 3120 (鉄筋コンクリート用棒鋼ガス圧接継手の検査方法) 制定
	1982	日本建築センター「鉄筋継手性能判定基準」制定
JIS Z 3881 第1次改正に伴い、「ガス圧接技量資格検定制度」を改正	1983	JIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第1次改正
「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第2次改訂	1985	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 第2次改正
	1987	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 第3次改正
メーカーの異なる鉄筋の圧接試験を実施	1988	JIS Z 3062 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波深傷検査方法及び判定基準) 制定
		JIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第2次改正
	1991	日本建築センター「鉄筋溶接継手性能判定基準」制定
異種鉄筋のガス圧接性試験を実施	1992	
第1回圧接管理技士資格試験を実施	1994	
「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第3次改訂	1996	JIS Z 3062 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波深傷検査方法及び判定基準) 第1次改正
つくば技術開発センター竣工		
優良圧接会社認定制度が始まる	1997	JIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第3次改正
「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第4次改訂	1999	
圧接及びその他継手の事業としての定款の変更		
鉄筋継手部非破壊検査事業者認定制度が始まる	2000	平 12 建告第 1463 号「鉄筋の継手の構造方法を定める件」公布
第1回鉄筋継手国際会議開催	2002	JIS Z 3881 (鉄筋のガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第4次改正
	2003	
「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第5次改訂	2004	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 第4次改正
A級継手圧接施工会社認定制度が始まる	2005	
「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第6次改訂	2007	
要員認証適合宣言の方針決定		
優良鉄筋継手部検査会社認定制度が始まる	2008	
日本圧接協会から日本鉄筋継手協会へ名称変更	2009	JIS Z 3881 (鉄筋のガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第5次改正
優良鉄筋溶接会社認定制度が始まる		JIS Z 3062 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波深傷検査方法及び判定基準) 第2次改正
会報「圧接」から会誌「鉄筋継手」に変更		JIS Z 3120 (鉄筋コンクリート用棒鋼ガス圧接継手の試験方法及び判定基準) 第1次改正
各継手の「鉄筋継手工事標準仕様書」改訂		
	2010	
公益社団法人としての定款変更案を総会で承認		
内閣府より公益社団法人の認定を受け、公益社団法人日本鉄筋継手協会に名称変更		
優良溶接せん断補強筋製造会社認定制度が始まる		